

# 越前市議会だより

6月定例会

## 脱原発をめぐす意見書 全会一致で可決

### エネルギー政策の抜本的な見直し等を求める意見書(概要)

エネルギー施策に関し国は、今まで原子力利用に当たり安全の

確保を言い続けられ、私たちもそのことを信頼してきたところである。

しかし、3月11日に発生した東日本大震災に起因した、福島第一原子力発電所での深刻かつ重大な事故の悪影響は、立地自治体はも

とより、風向きによって遠く周辺自治体にまで及ぶに至っている。

一方、県内に立地する原子力発電所と私たちが住む越前市との位置関係は、まさにこの事故の影響範囲と類似するような状況にあり、事故の過酷な様相とともに、市民



- ★10km 圏内には 敦賀半島北部と河野海岸
- ★10km ~ 20km 圏内には 越前市の西半分と敦賀市街地
- ★30km 圏内には、越前市ほぼ全域が入ります。

### 6月定例会の概要

平成23年第3回越前市議会定例会は、6月13日から6月29日までの17日間にわたって開かれました。

この定例会では、市長提出の補正予算案1件、条例案3件、専決承認案4件が提案されました。本会議の審議、委員会の審査を経て、採決の結果、いずれも可決・承認しました。

このほか、議員提出の意見書1件が提案され、採決の結果、可決しました。

また、一般質問には19人の議員が市政全般にわたって質問を行いました。

### 7月臨時会の概要

7月22日に第4回越前市議会臨時会が開催され、市長から工事の請負契約案1件が提出され、審議しました。付託委員会での審査では、契約業者の下請については、地元業者に発注するよう徹底されたいとの要望をし、本会議で報告しました。採決の結果、原案とおり可決しました。

に強い衝撃と不信感、不安を今も与え続けている。よって、原子力災害への対応に責任を持つ国に対し、事態の早期収束、原因の徹底究明、健康影響対策、情報公開、不安解消に全力で取り組まれるとともに、老朽化した原子力発電所の運転中止や原子力発電所からの撤退によって、国内すべての地域の安全・安心が確保されるよう、次の事項の実現を強く要望する。

記

- 1 敦賀原発3、4号機の増設計画の中止を含め、期限を定めて漸減廃止し、エネルギーの供給構造を抜本的に見直すこと。
- 2 高経年化した原子力発電施設は、運転延長を認めないこと。
- 3 国の原子力安全基準を、速やかに強化すること。
- 4 原子力防災対策の重点地域範囲を少なくとも半径20kmまで拡大し、広域防災体制の確立を図ること。

### 本号の主な内容

- 2～3面 ◆ 議案等の審議  
議員コラム
- 4～5面 ◆ 一般質問など
- 6面 ◆ 議案等の審議結果  
◆ 委員長報告

一般会計予算 1億9,370万円を補正

| 一般会計   |            |
|--------|------------|
| 補正前    | 30,675,000 |
| 補正額    | 193,700    |
| 補正後    | 30,868,700 |
| 伸び率(%) | 0.6        |

(単位：千円)

議案審議

— 6月定例会 —

予算審議

特別養護老人ホーム整備事業 625万円

**問** 国が推奨する個室タイプのユニット型が増えることで、従来の多床型よりも自己負担額が高くなって、低所得・低年金の方は入所しづらくなると思うが、その辺の対応はどう考えているか。

**答** 個室タイプのユニット型が増えてくると、確かに負担は増えてくるが、そのことは国も考えていて、例えば、生活保護者や低所得の方々の負担については、減免制度をつくる方向で考えている。



個室タイプを増設する特別養護老人ホーム

地球温暖化防止対策事業 901万円

**問** この事業は、住宅用太陽光発電システムの設置者に対する補助制度の拡充だと思うが、これまでの実績や今年度の目標はどの程度を考えているか。また、市民に周知を徹底しながら実際に省エネという段階に入っていくと思うが、市民の何%を目標にしているか。

**答** 昨年度実績が91件で、今年度はこの新しい補助制度をとり入れて120件で、30数%アップという目標を立てている。来年度はさらにその上積みを目指して推進していきたい。市民の何%を目標にしているかについては、今回の大震災を受けて、国も自然エネルギーへの施策を打ち出しているため、その辺を十分踏まえながら、市の方針等も今後まとめていきたい。

24時間対応巡回サービス研究事業委託料 1574万円

**問** 24時間対応の巡回サービス事業は、1

574万円という大きな金額だが、一体どの程度の事業なのか、また人員配置や体制も含めて、具体的なサービス内容等はどうなっているか。

**答** 概ね10名程度の高齢者の方々を定時に回れるような体制を考えている。そうすると24時間体制なので、全体で5名程度の職員を事業所に配置するようになる。具体的には、短時間の排泄介助や食事の介助を、大体1件あたり20分程度という短い時間で巡回しながらサービスするこの一連の流れを24時間の中でプログラムを組んで対応する。それ以外にもオペレーターを配置して緊急の通報あるいは相談等を受けられる体制を整えている。

東日本大震災支援事業 1500万円

**問** この事業の財源は、1400万円の寄付金と100万円の一般財源であり、1400万円の寄付金のうち600万円が被災地への義援金、そして残り800万円が被災地の支援事業にあてられているが、本来は1400万円の寄付金は全額義援金として届けるのが行政の役割だと思うが、寄付された方の気持ちを十分酌まれて支援事業に充当されたのか。

**答** 寄付の受け入れの際、義援金として送りたいという方と支援活動で使ってほしいという方の意向を聞いて仕分けしている。ほとんどの方から、この事業に使ってほしいというご指定はなかった。個人や企業からは、なるべく現地の人の希望を聞いて役立ててほしいという声をいただいているので、寄付者の思いと市の支援事業との食い違いはないものと考えている。



気仙沼市に到着した救援物資

「議員として目指すこと」

市民ネットワーク 大久保恵子



政治は暮らしです。政治はまちづくりです。私は「人と環境を大切に作る心豊かなまち」を目指して活動してきました。今ようやく、コウノトリが舞う里づくりが始まりました。環境を大切に、子どもやお年寄り、障害を持つ人や外国人など弱い立場の人の人権が大切にされ、その人の能力が発揮できるまちを、元氣な市民と元氣な市役所が一緒につくるまちをめざし、力をつくします。

公明党議員団 吉田 慶一



議員になり約5年目になりましたが、毎月20件以上の市民相談を受け、公共施設から個人の問題まで、さまざまな相談を受けてきました。今後市民の皆様のご要望を市政に反映していきながら、環境対策や教育福祉問題に重点的に取り組んで住みよい越前市をめざします。また農家の野菜栽培の応援として、付加価値の高い亜熱帯性果樹栽培普及と有害鳥獣の被害軽減に努めます。

誠和会 川崎 俊之



私が、議員として心がけていることは、「市民が主役の市政のために」です。すなわち、市民の声を情熱と行動力でスピーディに行政に届けることです。今後も議員にさせていただいた日を忘れず、子供達・高齢者・社会的立場の弱い方の代弁者として日々努力していきます。そして、「正当な信念」を貫いて、市の発展・市民の皆さんに信頼される議員として全力で頑張つてまいります。

越前創政会 中西 眞三



私は、市民の皆様がおかしいなと感じられることを正面から追求いたします。全てに率先垂範。まず立ち止まり、市民にとって、生活者にとって、「血が通うものか」「真心かどうか」「みんなの為になるのか」「公平性があるのか」等の視点に立って考えます。そして、良いとなれば先頭に立って、頑張り、汗を流させていただきます。必ずや皆様のために、何者にも負けない強い意志で行動してまいります。

◆都市公園スポーツ施設整備事業 4200万円

東運動公園の陸上競技場の公認が2種から3種に変更されることだが、平成30年には福井国体があり、県内でもさらにスポーツ振興を図っていく時期でもある。今から7年後となると、ちょうど今の小学生・高校生が将来の国体に出る有力選手の世代になると思う。そういう世代に対して、スポーツ振興にどんどん励んでもらわないといけないこのタイミングでどうして3種へ変更するのか。

現施設の使用状況を見ると、ほぼ3種の公認になるような大会を、ここ近年ずっとやってきているので、3種にしても十分対応できている。競技力のアップや、選手のレベルアップについては、3種になっても十分対応できると、種目別協会から伺っている。もう一つ金銭的な理由として、2種公認を維持しようとすると莫大な金額が必要になる。具体的には、400mトラックの改修工事に1億数千万円かかり、正確な自動計測器の更新に2〜3千万円かかる。



東運動公園の陸上競技場

◆「コウノトリが舞う里づくり」事業 5300万円

コウノトリを象徴にした生き物との共生事業がいよいよスタートするというところで、本当に期待しているが、具体的な事業内容や人員体制はどうなっているか。

事業内容は、飼育ケージ付近に巣穴を、地域住民と一緒に建てて、コウノトリの町のPRを積極的に行う。また、市内各地の理解を得るために連続講座を開催し、放鳥

も絡めたPRコーナーの設置などを考えている。人員体制は、県が現場事務所に2名配置、農協中央会から1名派遣、市はふるさと雇用・緊急雇用で2名配置し、市里地里山推進室の職員も応援体制をとっている。



コウノトリのケージの工事現場

◆夢ある子ども育成事業 695万円

この事業は、夢先生を講師に迎えて、直接子供たちと絆を深めながら、夢を育む教育を推進して、競技力向上に繋げていくという目的の他に、越前市を内外にPRすることもあると思うが、地元の小学生や子供たちは、どのようなかわり合いを持つのか。

夢先生に、市の特産物などを市内外にPRしてもらうほかに、天皇杯サッカーの賞状に越前和紙を使ってもらったり、国内外でのサッカー合宿で市の地元産しぎぶ米を使ってもらったり、そういった状況を子供たちが見ることで、市の特産物の意識を持つたり、越前市を再認識したりするきっかけにしたいと考えている。



北日野小学校での千葉真子先生の授業 (平成23年6月)

庁舎建設に関する自治連合会との意見交換会

去る7月11日、庁舎建設に関して、自治連合会と市議会との意見交換会が開催されました。会議では、市内17地区の自治振興会の代表と全議員が熱心に意見交換を行いました。



議員在職20年以上表彰

全国市議会議長会  
北信越市議会議長会

議員 嵐 等

議員 玉村 正夫

議員 前田 修治

議 員 コ ラ ム

政新会



福田 往世

私のモットーは「あなたと一緒にまちづくり」です。地域の方々との出会い、ふれあいを大切に、故郷の「人の力・町の力」を育み、歴史・文化・伝統行事・先端産業と伝統産業の融和を図り、市民主役で輝かしい地域づくりに向けて汗をかき、英知を絞って町づくりに繋げていきたいと思っております。そして安全・安心で笑顔の絶えない明るい町・誇りある町を子供達に残してやりたいと思っております。

日本共産党議員団 玉村 正夫



議員として大切なことは、住民の願いにこたえるため、要求実現に執念を持ち、「あきらめず、投げ出さず、知恵を絞る」ことだと思いい、それを基本に平日の議員活動に心がけています。そして、住民から選ばれた議員として、住民とともに考え、悩み、住民の要求解決のために献身的に奮闘する態度を貫き、住民にとって、なくてはならない議員となることを目指しています。

市民ネットワーク 福田 修治



議会が、市民からの信頼にこたえる存在になることは当然であり、地域や市民の皆様とともに、地域のルールを確立していく議論をさらに深めていくことが重要だと考えている。東日本大震災を受けて、災害に対する認識を改めて教訓として自らが受け止め、議員として議会として災害に対応する必要性に迫られている。自然災害や原発事故と向き合う議論を真剣にする必要がある。

諸派

片粕正二郎



二元代表制の一端である議会は、市民の目線に立ってのチェック機能を果たしていく使命を担っております。長い議会生活を通して常に越前市にとって最良の選択は何かを原点に活動してきたつもりです。これからは、次世代の若者たちが誇れる「ふるさと越前」の実現とより良い市政の発展のためには、あえて市長に苦言を呈することも私のなすべき役割と信じて取り組んでまいります。

# 6月定例会 一般質問

ここでは、紙面の都合上、実際に行われた質問の中から1人1項目を選び、質問・答弁を要約し、分野ごとにまとめて掲載しました。

【会派の略称】

- ・市民ネ = 市民ネットワーク
- ・公明党 = 公明党議員団
- ・共産党 = 日本共産党議員団
- ・自由ク = 自由クラブ
- ・創政会 = 越前創政会



越前市役所 今立総合支所



越前市役所 本庁舎

## 新 庁 舎

「新庁舎建設」

政新会 福田 往世

### ● 合併協定事項の所見は 大変重い

問 強い信頼と並々な努力によって合併協定事項が締結されて越前市が誕生した。後を引き継いだ市長は、責任者として合併協定事項は決しておぼろげに思わぬが、その所感と責任感はどうか。

答 両市町の合併は、さまざまな過程の中において、多くの方々のご尽力をいただいで成り立っているため、両市町議会で議決をされた合併協定事項は大変重いものがあると認識している。

「新庁舎問題」

政新会 伊藤 康司

### ● 現在地での建てかえ案はなぜ 広域合併や新幹線延伸が進んでない

問 新庁舎建設問題は庁舎位置を日野川東部とする合併協定締結で決着しているのに、なぜ現庁舎位置での建替案を提示する必要があるのか。

答 合併特例債は発行期限があり、限られた期間内に方針を決める必要がある。日野川東部移転案は、建設候補地が限定される上、合併時と比べると丹南の広域合併や新幹線の県内延伸が進んでいないことなどを踏まえ、検討に加えた。

「新庁舎の建設は」

公明党 関 利英子

### ● 防災拠点の機能を考えるべき 基本構想の段階で

問 災害発生時に対応できる庁舎位置は、防災拠点の機能を考えると、広い駐車場やアクセス道路の整備等が必要であると思う。また現庁舎のように分散して課があるのではなく、一つの庁舎内にすべての課が入っているほうが便利だと思いませんか。

答 防災拠点としての機能を十分考えた上で、市民サービスや経済性などさまざまな論点もあると思うので、基本構想の段階で市民の皆様から意見を聞く機会を設けて対応していきたい。

「合併協定をおりなら」

自由ク 題佛 臣一

### ● 国道8号線沿い提案が筋では 市民融和を考えて

問 市長は合併協定を尊重し、新庁舎は東部移転を一貫して言い続けてきたので、国道8号線沿いを提案するのが筋ではないか。

答 合併協定を尊重しつつ時間を掛けながら取り組むことが最善だと考えてきたが、国の起債制度が急遽変更され、財政的な観点を重視すれば最善とは言えなくなった。市民融和や将来のまちづくりの視点から建設を先送りする結論も十分残されている。

「庁舎問題で」

市民ネ 玉川喜一郎

### ● 混乱を招かない議論を 議会と丁寧な議論を

問 市長は、庁舎問題が市民間の感情的対立や混乱を招かない慎重な議論が重要だと言いが、3案を市民や議会に提示して説明されることの方が、迷われていると感じるがいかがか。

答 庁舎問題は市政の重要問題なのに限られた期間しかなく、地域ミーティングでも意見が大きく割れている現状にある。市民の代表である議会と丁寧な議論を積み重ねながら方向性を見出すべきと考える。

## 福 祉

「生活保護制度」

### ● 社会的自立の支援策は 市独自のプログラムで

誠和会 西野与五郎

問 最近の特徴として現役世代の突然のリストラ、企業の倒産、また海外移転と、これが引き金となって生活保護者が増加している。生活保護の目的の一つとして被保護者の社会自立が大切と考えるが、支援策はあるか。

答 市では、独自の自立支援プログラムを作成し、生活困窮者の生活再建を目指して個別支援しているが、今後も、関係機関等と連携を密にし、自立に向けた支援に取り組んでいく。

## 教 育

「今立中央公園プール」

### ● 再配置計画はいつか 24年度末の予定

誠和会 前田 一博

問 今立中央公園プールは、平成21年度より休止になっており、この施設は市全体の体育施設等の再配置計画の対象となっているが、計画はいつ頃策定するのか。

答 体育施設の再配置計画については、市民の代表の方や体育協会の方々、利用者の方の代表者等で構成する検討委員会を設けて、平成24年度末までに計画を取りまとめ、策定を予定している。

### ● 授業時間は 十分確保されている

誠和会 川崎 俊之

問 今年度よりスタートした、新学習指導要領に係る授業時間数と、小学校の英語必須化活動の現状はどうか。

答 授業時間数は十分に確保されていると考える。市では英語指導助手を二人雇用し、小学五・六年生すべての学級に年間12回派遣し、担任教師と一緒に授業を行っている。目標は英語を用いて積極的なコミュニケーションを図る楽しさを体験することである。

## 安 全

「犯罪被害者支援条例」

### ● 早期制定を 条例化に向けて取り組みたい

創政会 中西 眞三

問 越前市には、「安全で安心なまちづくり推進条例」は制定されているが、犯罪被害を受けた人に対する支援の条例はない。犯罪被害者を支援する条例を、至急制定するべきではないか。

答 市では、庁内連絡会を設置するなど支援体制を強化してきた。県内でも凶悪犯罪が発生していることから、犯罪被害者等の支援をさらに推進するため、条例化に向けた取り組みを進めていきたい。

## 環 境

「魚あらい処理施設」

### ● 今後どう対応するのか 県と連携して

政新会 安立 里美

問 坂口地区に魚あらい処理施設の建物が完成したが、建築確認申請や法律上の手続きはあったのか。この地区で行っている「コウノトリが舞う里づくり事業」に、環境への影響はないのか。市は今後どう対応するのか。

答 当初は倉庫で申請されたが、県への法的手続きはまだない。事業者より説明は受けたが、環境に影響があるかどうかは判断できない。市は地域住民の合意なしに進まぬよう県と連携していく。



吉野瀬川ダム建設予定地



敦賀発電所

# 原 発 ・ 防 災

## 「原子力政策の推進」

議員 片粕正二郎

### ●積極的な取り組みを 県とともに進めていきたい

問 福島原発事故により周囲20kmや30km圏域にある避難民は半ば強制的に移転されている現実を見ると、原子力政策は、国や県の指示を待つのではなく、もっと積極的に取り組むべきではないか。

答 EPZ(防災対策重点地域)の範囲設定のような同心円の線引きではなく、放射性物質の拡散予測など科学的根拠をもとにした検討が必要である。県の計画改定と時間差が生じないように市計画を見直していきたい。

## 「広域避難所」

公明党 吉田 慶一

### ●防災機能の設置対応は 可能な範囲で設置

問 屋内運動場のトイレ設置状況と、災害による断水時のトイレ対応はどう考えるか。また、災害時の情報伝達手段の確保はどうなっているか。

答 トイレ設置状況は小学校16校、中学校7校で、未設置1校は今年度に整備する。下水道のマンホールを活用した仮設トイレの設置は可能である。情報伝達手段は屋内運動場のステージ付近に市の庁内LANやテレビ接続口を配置して対応している。

## 「原発事故を教訓に」

共産党 玉村 正夫

### ●防災体制の見直しは 会議を立ち上げ準備する

問 福島の原発事故を教訓に、市でも自然災害と原子力災害が同時発生した場合に、ただちに行えるような、新たな防災体制を準備する必要があると思うが、その考えはあるか。

答 市においては、原子力災害に対する市民の不安を取り除くために、国や県の方針が出され次第、直ちに地域防災計画に反映できるように、地域防災計画原子力災害編策定の準備会議を立ち上げて、準備を始めた。

## 「放射能不安」

市民ネ 三田村輝士

### ●市長からの安心メッセージを 国県市が連携して

問 市民は今、原発の放射能汚染が一番の不安材料だが、市民が安心して暮らすために市長からの心強いメッセージはないか。

答 県が働きかけて、国・県・市が連携しながら対策を確立するのが基本である。市民の不安があれば、安全安心という観点から、その上乘せとして市がどういう取り組みをするか、それはまたその時点で十分に考えるべきテーマである。

## 「被災者支援システム」

創政会 小形 善信

### ●情報管理ソフトの構築は 研究していく

問 西宮市で開発され、現在無償で日本全国に提供している自治体向けの情報管理ソフト「被災者支援システム」がある。東北の多くの自治体でも利用されているので、このシステムの構築が必要ではないか。

答 このシステムは、住民基本台帳データがベースになっているので、データを管理する丹南広域組合共同電算システムに支障がないか、互換性など内容を研究していきたい。

# 原 発 ・ 防 災

## 「平時の放射能影響予測」

政新会 城戸 茂夫

### ●データ提供が必要では 県に要請していく

問 原発事故の発生時に放射性物質の拡散を予測する「緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム(SPEEDI)」のデータ提供と、その公表が必要だと思うがどうか。

答 平時からSPEEDIの情報公表することが、無用の混乱を避ける意味でも非常に大切だと考え、市も早い段階で西川知事に要請を行っている。これは国にも求めないと対応が困難な課題でもある。

## 「内水被害の軽減」

市民ネ 大久保恵子

### ●ダムは必要か 治水効果が高い

問 吉野地区の田んぼの冠水や家屋の浸水は、内水の問題が大きい。武生承水路及び東出用水の工事完了により、それらが軽減されることであるが、それでも吉野瀬川ダムは必要か。

答 吉野瀬川の治水安全度は、二・三年に一度は水がつく可能性がある。一番重要なことは、効果の薄いダムは見直すべきだと思うが、極めて高い効果が期待できる吉野瀬川ダムは必要だと考える。

## 「吉野瀬川ダム事業の検証」

市民ネ 佐々木富基

### ●費用対効果は 極めて高い

問 吉野瀬川下流域は、2回の避難勧告を受け、早期のダム事業着工が望まれている。吉野瀬川ダムの検証結果、並びに費用対効果はどうか。

答 吉野瀬川ダムの検証会議では、県市検討会、それから県の公共事業等評価委員会の審議を経て、現行どおり継続するとの対応方針が決定されている。費用対効果は、87の検証ダムの中で極めて高いことが確認されており、出来るだけ早い完成を目指して積極的に取り組んでいく。

# 農 業

## 「コウノトリ放鳥」

政新会 川崎 悟司

### ●住民の協力的体制は 生き物と共生を

問 コウノトリの飼育ケージ付近での除草剤の散布や、ラジコンヘリ防除についてどう対応するか。また、冬場の餌の確保はどう対応するか。

答 飼育ケージや隣接するえさ場付近の周囲約4ヘクタールある水田での農業散布については、自粛することをご理解を得ている。冬場のえさの確保については、飼育ケージの両隣にえさ場を作ってフナやドジョウを供給し、生き物と共生する越前市を目指していきたいと考えている。

## 市議会を傍聴しましょう

本会議は、住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。場所は本庁舎別館6階です。傍聴に来られる方は、なるべく公共交通機関を利用するか乗り合わせでお越しください。

Table with columns for '議案等の名称' (Proposal Name), '議員名' (Councilor Name), and '賛否' (Approval/Rejection). Rows include '予算' (Budget), '条例' (Ordinance), '専決承認案' (Special Decision Approval Cases), '請願' (Petitions), and '臨時会' (Special Session).

○：賛成 ×：反対 △：継続 欠：欠席 (注)議長は採決には加わりません。 市民：市民ネットワーク 公明：公明党議員団 共産：日本共産党議員団 自由：自由クラブ 創政：越前創政会 諸：諸派

6月定例会 委員会報告

総務委員会

委員からは、お金を寄付された方は、被災者のことを考え、一刻も早く被災地に現金を送って欲しいと思われているところである。この委託料で企画されている「東日本がんばろう日本フェア」での郷土芸能、物販売、観光PRについては、寄付金を財源とせず一般財源で賄うべきではないのかとたどられました。



被災地に到着した救援物資

理事者からは、今回の委託料は、時間の経過とともに支援物資も充足し始めたことから、被災地にお金が落ちる工夫として、風評被害にあっている特産品を買い取ること、被災地の経済効果を生み、さらに販売することで、その売上げが新たな寄付金にもつながること、併せて観光PRにも結びつくことから計上したものであるとの答弁がなされました。

重ねて委員から、本会議での質疑等も踏まえて、市独自でやる支援事業については、市の一般財源により、また、寄付金は寄付者の意向を反映して、いち早く現金か物資で現地に届けてほしいとの要望がなされました。

教育厚生委員会

委員からは、地域児童育成活動支援事業における補助事務手続きを踏まえて、今後の取り組みについてたどられました。



東運動公園 陸上競技場 400メートルトラック

理事者からは、この支援事業の対象は、1組織の人数が概ね30人以上であることから、既にある2つの母親クラブと11の自治振興会に加え、今回の補正で4つの自治振興会からの新たな申請に対応するものである。今後も、会員数が年々減少傾向にある母親クラブから、児童育成に係る担当部会を擁する自治振興会に移行し、横に広がりのある児童育成事業を展開していきたいとの方向性が示されました。

また委員からは、スポーツ振興は、整備された施設を多くの市民が利用することが重要であることから、市においては、スポーツ振興に大きな役割を果たしている体育協会や種目協会について、年齢構成を含めた推進体制の強化を図りながら、少年スポーツ人口の増加など、さらに活性化するような指導をされたいとの要望がなされました。

産業建設委員会

委員から、映画「ヘソモリ」を通じた和紙や越前市のPRについて、和紙で制作した展示物を、映画館ではなく、中高生などの若い人が多く利用する駅など、人の集まる場所に置くほうが効果があるのではないかとたどられました。

理事者からは、駅前「匠の技案内所」や栗田部の福井銀行など人の集まる場所に行灯とタペストリーを設置してPRすることは、すでにスタートしており、加えて福井の量販店等とも調整中である。駅が効果的な場所というのであれば、調整してみたいとの答弁がなされました。

さらに、委員からは、越前市を舞台にした映画が作られたのは素晴らしいことであり、PRに力を入れてほしいが、映画の周知方法はどのように考えているのかとたどられ、理事者からは、市内すべての公民館に映画のポスターを置いて周知するほか、9月3日の公開に向け、広報えちぜん8月号でも周知する。また、県の観光振興課にも依頼して、全県的にPRのネットワークを広げていきたいと考えているとの答弁がなされました。

議案を審査するため、各委員会を開催しました。掲載記事は委員長報告の主な内容です。

市議会事務局 TEL (22) 3426. 議会だより編集委員会 委員長 城戸茂夫 副委員長 吉田慶一 委員 三田村輝士 川崎俊之 題佛臣一 小形善信 前田修治